

貴講座/診療科名	腎臓内科
----------	------

問1. 現在の貴講座・診療科に在籍している男女別医師・研究者人数をご記入ください。

(各医系講座・診療科に送付しておりますので、他講座・他診療科に主たる在籍がある併任者は含めないで下さい)

		男性 医師数	男性 （医師以外） 研究者数	女性医師数		女性 （医師以外） 研究者数
				子供なし	子供あり （妊娠中含む）	
フルタイム勤務	1) 教授	1				
	2) 准教授					
	3) 講師					
	4) 助教・助手	1				
	5) 医科診療医（専任）	4		2		
	6) 医科診療医（社会人大学院生兼任）					
	7) 大学院生（専任）	3				
	8) 研究員					
	9) その他 1（職種： その他 2（職種：					
短時間勤務	10) 研究生					
	11) その他 1（職種： その他 2（職種：					
12) 上記のうち貴講座在籍中に育休を取得した人数		0		0		

講座・診療科内の意思決定	男性	女性	非該当（○で囲む）
13) 講座・診療科内の各種委員会等の委員延べ人数			委員会等なし・その他

問 2. 出身医師・研究者（事務・技術職員を含まない同門会員等）の男女別人数をご記入ください。
(多少の誤差はあっても構いませんので、できるだけ非該当にせず人数でご記入ください。)

	男性	女性	非該当 (下記の場合○で囲んで下さい)
1) 全出身医師・研究者数（大学在籍者を含む）	82	37	不明・その他
2) 上記のうち、休業者数(固定の勤務先がない人)	0	0	不明・その他
3) 同門会等の役員数（各種委員会等の延べ人数）	10	0	同門会役員なし・その他

問3. 現在、貴講座・診療科として、大学在籍中の子育て中・子育て希望の女性医師への仕事・家庭両立のための配慮はどの程度されていますでしょうか？
該当する欄に○をつけてください。

(3) および(6)は当直免除期間・許容育休期間を決められていればその期間も記入してください)

	非該当 (女性医師が いない、 臨床なし、 など)	原則 配慮しない	希望が 出れば、 配慮す ることも ある	希望が 出た場合、 常に ある程度 配慮する	積極的 に配慮・ 支援
1) 勤務時間の軽減(時間短縮、フレックスタイム等)					○
2) 仕事量の軽減					○
3) チーム制(複数主治医制)による負担軽減					○
4) 当直(免除期間:妊娠中 <u>産後</u> (どちらかに○を) ～子供が 歳 ヶ月になるまで)					○
5) 子供の病気・学校行事のための有給休暇取得				○	
6) 在籍中の妊娠・出産(挙児希望に対し)				○	
7) 産休明け後の育休取得(最大許容期間: ヶ月間)				○	

*上記配慮の代わりにデメリットはありますか？

- 8) 給与面 なし(○)、ある(): 具体的に()
 9) キャリア面 なし(○)、ある(): 具体的に()
 10) その他 なし(), あるいは(): 具体的に()

*男性医師が子育て支援を希望した場合、上記を女性医師同様に配慮されますか？

- 11) 同等に配慮(), 少しは配慮(○)、男性医師は原則配慮しない()

*その他にも貴講座・診療科として在籍女性医師・子育て中医師への支援事項があれば、下記枠にご記入下さい。(当直回数半減、メンターや女性医師親睦会による相談体制がある、など)

--

問4. 現在、貴講座・診療科として、出身者(=同門会会員)の女性医師の仕事・家庭両立のための配慮はどの程度されていますでしょうか？
該当する欄に○をつけてください。

	非該当 (女性医師が いない、 当直なし、 など)	原則 配慮しない	希望が 出れば、 配慮 することも ある	希望が 出た場合、 常に ある程度 配慮する	積極的 に配慮
1) 出身者(関連病院等在籍者)への産休・育休支援(応援医師派遣など)					○
2) 休業中の女性医師への復帰支援(研修のあっせん、復帰にサポート体制のある勤務を紹介など)				○	
3) 人事としての勤務地配慮(夫の勤務地を考慮など)					○

*男性医師が子育て支援を希望した場合、上記を女性医師同様に配慮されますか？

- 4) 同等に配慮(), 少しは配慮(○)、男性医師は原則配慮しない()

その他にも出身（同門会）女性医師・子育て中医師に配慮している事項があれば、下記枠にアピールして下さい。

--

- （今回の情報提供の試みについてでも、サポートの会の開催時期についてでも、広島県医師会女性医師部会へのご要望・ご意見等ございましたら、下記枠にご自由にご記入ください。

--